

報道関係者各位

**緊急避妊薬、薬局で入手を【コロナ禍での予期せぬ妊娠防止のため早急な対応を】
日本薬剤師会への要望書・署名提出及び意見交換を実施**



日本薬剤師会にて田尻泰典副会長（写真右）に要望書・署名を提出

女性が健康を守るために、安心して、適切かつ安全に、緊急避妊薬にアクセスできる社会の実現を目指す「緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト（通称：緊急避妊薬を薬局でプロジェクト、以下「当プロジェクト」）」では、2020年7月の厚生労働大臣、8月の日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会に続き、9月25日に日本薬剤師会会長山本信夫様宛に、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ緊急避妊薬へのアクセス改善を求める要望書及び、緊急避妊薬のアクセス改善を求める約8万9千筆の署名を提出いたしました。

日本薬剤師会にて山本信夫会長、田尻泰典副会長、森昌平副会長とのご面会の機会をいただき、署名・要望書の受領と、大変お忙しい中にも関わらず1時間に渡り意見交換をさせていただきました。

日本薬剤師会では、昨年オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会を全都道府県薬剤師会で開催できるよう取り組んでおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一部延期となったものの、今後は同研修のオンライン化も視野に入れた取り組みを進められていることをお話しいただきました。またプロジェクトへの様々なご助言もいただき、この場を借りてお礼を申し上げます。

また、9月15日には日本医師会様宛にも署名・要望書を郵送し、受領いただきました。今後も様々な関係者と意見交換をしながら、女性が安心して、適切かつ安全に、緊急避妊薬にアクセスできる社会の実現を目指していけたらと思います。

【要望書】▶ <https://kinkyuhinin.jp/advocacy/>（要望書及び署名全文はこちらのリンクよりご覧ください）

1. 緊急避妊薬が適切かつ安全に使用される環境づくりを推進すること
2. 緊急避妊薬の対面診療およびオンライン診療の提供体制を整備、強化、周知すること
3. 緊急避妊薬のスイッチOTC化に関する審議を早急に再開し市民の声を反映すること
4. 緊急避妊薬を薬局で薬剤師の関与のもと処方箋の必要なく購入できるようにすること

【海外関係機関からのお手紙】▶ https://kinkyuhinin.jp/pr_letter/（日本語訳も掲載しております）

【アフターピル（緊急避妊薬）を必要とするすべての女性に届けたい！署名キャンペーン】

<https://www.change.org/afterpill>

【お願い】 活字媒体の公開にあたりましては、お手数ですが、当プロジェクトに内容確認をお願いいたします。

【取材お問い合わせ先】 緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト/NPO法人ピルコン

担当：梁矢明日香 **E-mail** : info@kinkyuhinin.jp <https://kinkyuhinin.jp/>